

ゴビンダ通信

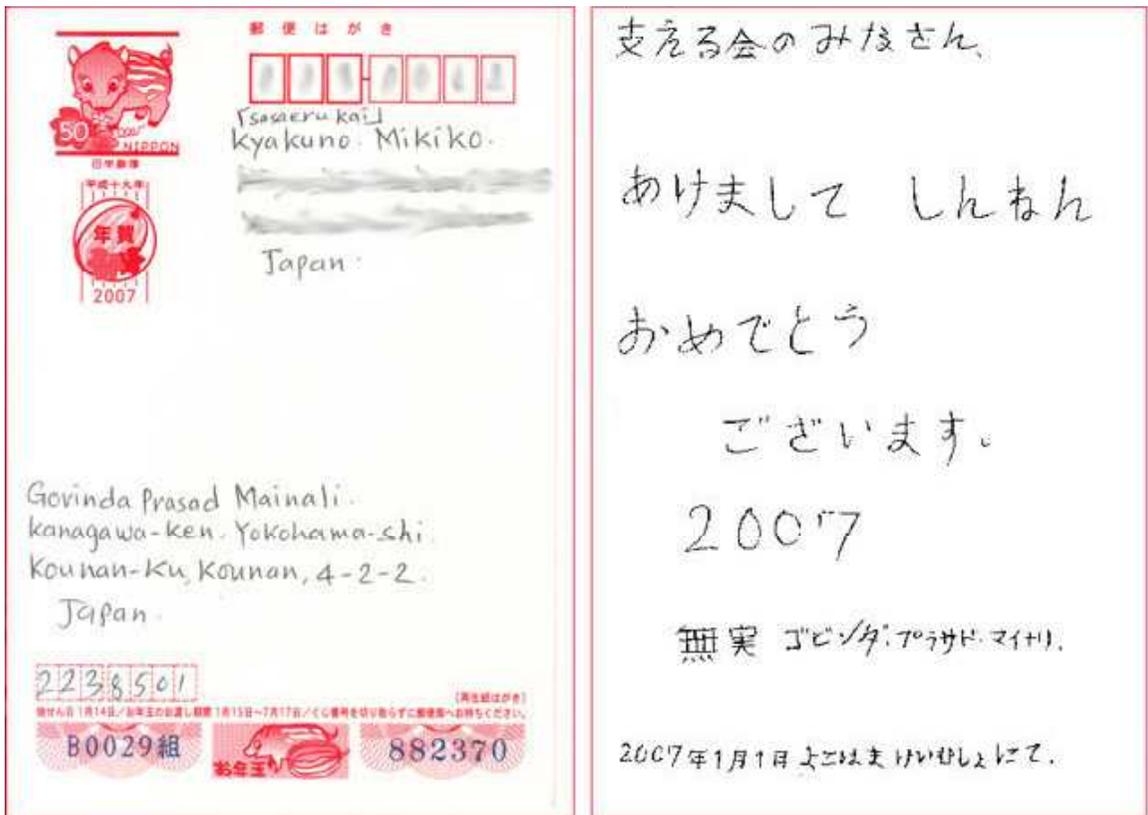
No 29

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

February 25, 2007



ゴビンダさんに年賀状を送ってくださったみなさま、本当にありがとうございました。1月4日新年面会に行ったとき、「25枚、来ています」と言っていたのですが、その後、また増えて最終的に「40枚以上になりました！」と大変喜んでいました。

「みなさんに一人ずつ出せないで、ニュースレターで見せてあげてください。もっといろいろ書きたかったけど、あけましておめでとうしか書いちゃダメと言われたから、これしか書けなかった、ごめんなさい」とのことです。

後日、ゴビンダさんに頼まれてお年玉付き年賀はがきを宅下りで持ち帰ったところ、なんと幸運なことに、40枚中1枚が、「2等賞」(下4桁 = 地域特産品小包)に当たっていました！ふつうの人にとってはささやかな出来事でも、獄中でほとんど変化のない無味乾燥な生活を送っているゴビンダさんにはビッグニュース。この幸運を大いに喜んでみんなに自慢しているところを想像して、私たちも嬉しい気持ちになりました。(事務局)

兄インドラさんからの年賀メッセージ

支援者の皆様。

マイナリ・ファミリーと私から、支援者の皆様とゴビンダに、クリスマスと新年のお慶びを申し上げます。

長い歳月の末、ネパールの観光業界にも、ようやく回復の兆しが見えてきました。おかげさまで、昨9月以来、今日にいたるまで、ツアーガイドである私も、多忙をきわめております。今、このときも、長いトレッキングから戻ってきて、ポカラから、このメールを書き送っています。

私たち家族は、ゴビンダが「真実は必ず勝つ」との原則にもとづき、彼に下された誤まった判決に対する果敢な闘いにより解放される日を、辛抱強く待ち続けてきました。

皆様の物心両面でのご支援により、彼は希望を失うことなく、差別的な司法としっかり対峙することができています。ネパールの私たち家族は、皆様の支援が正しいことが証明され、ゴビンダを守ろうとする皆様の決意が、いつか必ず勝利することを確信しています。

最後に、私たちの愛するゴビンダに対する、皆様方の無償の愛とご支援に、あらためて感謝するとともに、この悲劇が終わるまで支援し続けてくださいますよう、心からお願い申し上げます。

2006年12月23日

インドラ・マイナリ&マイナリ・ファミリー

面会報告

初のごビンダさんへの面会に行きまいりましたので、ご報告させていただきます。

ゴビンダさんへの第一印象ですが、ホームページ上での革ジャンを着た写真が脳裏にあったせいか、拍子抜けするほどの柔和な人懐っこそうな笑顔にまず驚かされました。

顔色も良さそうだったので、「元気そうですね」と声をかけたところ

「少し疲れています」との返事でした。単調な日常の所内作業からくるストレスがあるようなことをおっしゃっていました。

そんな中でも、ご家族の今度の来日日程などについて気にしておられました。客野さんから、私が東京ディズニーランドで勤めていたことは聞かされていた様で、ご家族を私がTDL、TDSへ案内しますと伝えたところ、手を合わせて「よろしくお願いします」とのことでした。

期待に答えねばと感じた次第です。

前日慰問で「キム、ヨンジャ」さんが来て歌を披露してくださったそうでその話を嬉しそうにされていました。ゴビンダさんから日本の演歌歌手の名前がポンポン飛び出し、先日亡くなった井沢八郎の名前まで出たことには大変驚かされました。演歌が大好きだと初めて知りました。

3人で交互にお話し、あっという間の30分でしたがまたの訪問を約束して別れました。

自分のことだけでも手一杯なのに、人のことまで・・・と当初は思っていたのですが、こんな理不尽なことが許されていいのだろうか、この事件を知ってしまった者の責任と義務のようなものを感じて参加するに至った次第です。これからもよろしくお願いします。 (2月8日:原中)

日弁連の再審支援決定による弁護士増強

昨年10月19日付での日弁連支援決定により、その後、本年1月に2名の弁護士が加入。ゴビンダ弁護団は総勢9名になりました。新たな視点から事件を検証すべく活発な議論を行い、積極的に証拠開示請求を進めているとのこと。再審の動向に、ご注目ください。

神山啓史氏(主任)、石田省三郎氏、丸山輝久氏、神田安積氏、佃克彦氏、
宮村啓太氏、鈴木郁子氏、佐藤善博氏、上地大三郎氏

1月学習会報告 ~ 「東電OL殺人事件」の真相と再審の論点を探る

1月27日、「支える会」では、事件発生から10年・再審請求から2年というこの機会に、あらためて「高裁逆転有罪の証拠構造」とは何だったのか、「再審開始への道のり」はどうなるのかをテーマに学習会を行いました。

講師は、再審弁護団の新進気鋭、宮村啓太弁護士・鈴木郁子弁護士に担当していただきました。新しい視点で資料を読み込み、再審開始への厳しい取り組みをやっていきたいと順序立てて意欲的に話される頼もしい姿勢に、あらためて意を強くしました。

~~高裁は7点の間接事実(状況証拠)を総合してゴビンダさんの犯人性は合理的に推認出来るとして判決を下した。しかし、これらはいずれも間接事実であり、「被告人であったとしても不自然ではない、被告人の弁解は信用しかねる」とゴビンダさんの主張を一方向的に排斥している。例えば被害者の手帳に記載されている『? 外人0.2万』について、ゴビンダさんの主張に疑義を挟み、被告人=犯人という視点から主観的に解釈している。これをゴビンダさんの主張を裏付ける間接事実と捉えれば、証拠構造は根底から崩壊し、一審が示した無罪判決が導き出される~~

久しぶりに学習会は椅子不足になるような多数の参加者でいっぱいになりました。「東電OL殺人事件」の真相は闇の中にあり、「ゴビンダ冤罪事件」は忘れられる事なく、風化することなく、多くの人たちの関心を集めている事が確認でき、事務局としては力が湧いて来る想いでした。

宮村・鈴木両弁護士は、事件や裁判の詳細を知らない初めての参加者にも理解しやすいよう、問題点を整理して話してくださいました。最後に、再審においても「疑わしきは被告人の利益に」という刑事裁判の鉄則が適用されること、したがって、確定判決における事実認定につき合理的な疑いを生ぜしめれば、再審が開始されること。そのため7点の間接事実の認定を揺るがす新証拠として、押田鑑定を補強する供述調書や指紋など未提出証拠の開示請求の実現を鋭意すすめている現状について話されました。

終了後、参加者の強い希望により薄暮のなか事件現場の検証を行いました。原色の電飾が怪しく輝く円山町の一角にあるとは思えない老朽化が激しい喜寿荘101号室は黒い静寂の内に沈んでいました。隣接する粕谷ビルに事件後もゴビンダさんが暮らしていたことを説明すると「エッ~、ほんとうに強盗殺人したら、こんなすぐそばにいるわけないじゃない」。まさしく、この現場を訪れた人たち全ての実感です。

再審裁判所に対して、ぜひとも現場検証を行うよう、支援者からも強く要請しましょう!(武蔵)

「名張事件」再審開始取消しについて

2006年12月26日午前10時、名古屋高等裁判所刑事第2部は、「名張毒ぶどう酒事件」異議申立審について、検察側の異議申立を認め、再審開始を取消しました。

その日、暖冬のはずの日本列島に降り注いだ冷たい雨は、奥西勝さんのために「天」も涙を流しているかのようでした。再審開始取消しとともに死刑執行停止まで取消しになってしまったのです。あまりにも理不尽な裁判所の暴挙に対して、私たちは怒りのおさまらないまま年を越しました。

横浜刑務所のゴビンダさんも、1月4日新年面会のとき、「名張のこと、テレビニュースで見ました」と自分から切り出し、「奥西さん、もう80歳なのに、気の毒です。『絶対、無実だから、最後まで闘う』と弁護団に言ったそうですね。農薬について新しい鑑定があるのに、ちゃんとした理由もなく否定するなんて、ほんとにひどいです」と憤慨していました。また「自分の再審もどうなるか心配だけど、再審が難しいことは最初から覚悟していたから、あまり心配してもしようがない。今の自分は、ここでの生活をがんばるしかない」と表情を引き締めていました。

奥西さんと弁護団は、直ちに特別抗告し、再審開始を最高裁で争うことを表明しています。汚名をそそがないまま人生を終えるわけにはいかない！全ての冤罪被害者の悲願は、これに尽きると言えるのではないのでしょうか。

2007年を心から「おめでとうございます」と祝うことのできる年にするため、私たちも気合を入れなおして闘い続けていく決意です。本年もゴビンダさんと「支える会」を、どうぞよろしく願いいいたします。
(客野)

2007無実のゴビンダさん支援集会

(* 詳細は、チラシ同封)

不当逮捕から10年。再審請求から2年。無実を訴えるゴビンダさんの早期救出を！

日時 2007年3月24日(土) 午後2時～5時 (1時半開場)

会場 渋谷区立勤労福祉会館 第1洋室

事務局からのお知らせ

事務局会議：隔月第2火曜日 午後7時～9時 現代人文社：信濃町駅下車徒歩5分
< 次回は2007年3月13日(火) >

ゴビンダさんに、激励状を出してあげてください。宛先は下記のとおり。

[〒233-8501 横浜市港南区港南4-2-2 ゴビンダ・プラサド・マイナリ]

ゴビンダさんが待ち焦がれている妻ラダさんと2人の娘さんの来日は、ネパール側の諸事情により、当初の予定より遅れて4月以降になりそうです。

家族来日カンパ、引き続き、どうぞよろしく願いいいたします。

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町20 佐藤ビル201 現代人文社気付 TEL: 080-6550-4669

e-mail: govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>